

滋賀県立虎姫高等学校

IBDP アドミッション・ポリシー

H30(2018).9.26 作成

R5(2023).9.6 最終更新

1. はじめに

虎姫高等学校は、次のような教育目標・教育方針を掲げています。

【教育目標】

質実剛健の校風の下に、真に実力を持ち、我が国の発展と国際社会の繁栄に貢献できる人間を育成する。

【教育方針】

教育目標を達成するため、次のような資質・能力の育成を目指し、教育活動を展開する。

- (1) 思考力・表現力を養い、主体的に探究し、他者と協働して学習できる。
- (2) 多角的な視野を備え、物事を正しく判断し、勇気を持って行動できる。
- (3) 感謝の心を持ち、知・徳・体の調和を目指し、己を省みて生活できる。
- (4) 博愛精神を育み、異なる文化や価値観を尊び、様々な人と共生できる。

これらの教育方針・教育目標は、国際バカロレアプログラム（IB）における10の学習者像(※)の育成に合致するもので、その理念にふさわしい教育の機会を提供できることを示しています。そして、本校のディプロマプログラム（DP）は、全日制普通科の中に設置されており、入学を許可されたすべての生徒に対してその門戸を開いています。

※IBにおける10の学習者像

探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のもの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。また、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。

思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

2. 入学者の選抜

本校は、「質実剛健」の校風のもと、100年余にわたる歴史と伝統の上に、さらなる飛躍をめざしている学校です。そして、志願して欲しい生徒像として、以下の3つを掲げています。

- ・志望理由が明確で、本校の特色を理解する者
 - ・学習意欲にあふれ、思考力・発想力・表現力を有する者
 - ・探究心旺盛で、本校卒業後は、大学等に進学し、専門的知識を深めようとする者
- 特に DP の受講を希望する生徒においては、
- ・将来海外の大学に進学し、国際的な舞台で活躍したいという希望をもつ者
 - ・将来日本にいながら国際的な視野を持って活躍したいという希望をもつ者
- を想定しています。

また本校は、滋賀県によって設置された県立高校であるため、その入学者選抜については、滋賀県教育委員会の「滋賀県立高等学校入学者選抜要項」に定められた方法に基づき実施します。詳しくは、「入学者選抜の概要と DP の関係」に明記します。

3. 入学者選抜の概要と DP の関係

虎姫高等学校は、滋賀県立の全日制普通科高校として、県内全域から入学志願者を

受け入れています。現行の入学選抜では、2月前半の週に実施される「特色選抜」および「スポーツ・文化芸術推薦選抜」、3月前半の週に実施される「一般選抜」によって、入学許可予定者を決定しています。それぞれの選抜方法の概要は、次の表の通りです。詳細については、例年6月末に公表される滋賀県立高等学校入学選抜要項に記載されます。

選抜においては、身体に障害があるなどの理由により、特別な配慮や支援を必要とする志願者に対しては、当該中学校や県教育委員会と協議して適切に対応します。

特色選抜	総合問題、小論文、個人調査報告書等
スポーツ・文化芸術推薦選抜 (英会話 (ESS))	総合問題、小論文、実技検査 (英語によるスピーキングテスト)、個人調査報告書等
一般選抜	国語、数学、社会、理科、英語の学力検査、個人調査報告書

入学許可予定者に対しては、3月下旬にオリエンテーションを実施します。その場で、DPについて説明し、DPの履修を希望したり、興味・関心を持ったりしている入学許可予定者について調査します。DP希望者が40名を超える場合は、原則として、概ね1クラス規模になるよう選考を行います。

選考の判断材料は、①選考試験の結果 ②個人調査報告書 となります。

選考を行った場合は、入学前に、その結果を各DP希望者に伝えます。

4. 入学以前の周知活動

本校は、中学生の主体的な進路選択に資するよう、中学生対象の体験入学を8月と11月に実施しています。その実施については、予め近隣の中学校を訪問したり、県内すべての中学校に要項を郵送したりして案内するとともに、本校のホームページにおいても公表し、参加の受付を行います。

体験入学では、中学生やその保護者に、学校紹介に加えて、DPの特長や経費、IB生の選考方法等の説明を丁寧に行います。さらに希望者に対しては、DPスタイルの模擬授業を体験する機会を提供します。

また、この他にも、模擬授業体験を中心に据えたIB教育の説明会を設定し、体験的な活動の場を設けることで本校におけるDPの周知を図ります。

さらに、ホームページでは、IBの理念や学習者像についても紹介して、その周知の徹底を図っていきます。

5. 入学後のDP志願過程

入学許可予定者オリエンテーションで希望を調査・選考した結果により、DPの受講を希望する入学生 (IB候補生) は、特定のクラスに所属して高校生活をスタートします。そして、5月から7月までをDPの志願過程期間と位置付け、IB候補生に対して、

DP 説明会や面談、体験授業を実施するなど、DP について考える機会と時間を与えます。

DP は、多大な恩恵がある一方で、厳しい学習が課されることを生徒および保護者に理解してもらわなければなりません。そのため本校は、DP を志願する生徒には学習に対する強い意欲と粘り強さや適性を期待し、そのことを生徒および保護者に説明します。具体的には以下のような資質です。

- ・ 学びに対して目的意識を持ち、探究的に真摯に取り組む態度（探究力・自己管理能力）
- ・ 他者のものの見方に注意深く耳を傾け、思いやりと共感を示し、効果的に協働して学ぶ力（協働力・コミュニケーション力）
- ・ 母語である日本語だけでなく他の言語（本校 DP では英語）を用いて、自分自身を表現する力（言語力・表現力・論理性）

DP 志願過程期間の概要は、下表のとおりです。

志願過程の期間	① 6月2週目	説明会の実施	生徒と保護者を対象に、DP について説明をする。
	② 5～7月	個人面談期間・DP 授業体験期間	生徒や保護者の相談に応じ、適切な情報提供や不安の解消などに努める。また、土曜日等を活用して DP 授業体験を実施する。
	③ 7月2週目	提出書類の締め切り	生徒・保護者が作成して提出する。
	④ 7月3週目	保護者との面談	生徒の保護者と面談を通じ、費用面等の協力支援の確認を行う。
	⑤ 7月4週目	選考試験の実施	志願生徒に対して面接等を行い、適性と意欲をみる選考試験を実施する。なお、生徒の面接（個人）の際には、口頭試問（英語）もあわせて実施する。英語力については、実用英語技能検定準2級程度を目安とする。グループディスカッションも同日に設定する。

- ・ ①～② 生徒は DP を選択するかどうかを熟慮する時間を持つ。志願までに DP コーディネータ等が IB 候補生と複数回面談する。
- ・ ③ IB 候補生は、そのための願書や関連する書類一式を所定の期日までに DP コーディネータに提出する。

提出書類一覧

1	願書 兼保護者同意書	本人・保護者の署名
2	志願理由書	本人直筆
3	学問的誠実性に係る同意書	本人署名

- ・ 志願過程の期間の途中で他校から転入学または編入学する生徒が DP の受講を希望する場合は、必要に応じて可能な範囲で志願過程について配慮する。

6. 選考と人数の制限について

志願過程を経た志願者は、次の手順により選考され結果を通知されます。

選考	① 8月1週目	DP 受講生徒（IB 生）の決定	校内で選考会議を開き、面接試験の結果ならびに志願者から提出された志願理由書等および1学期の成績・提出物の提出状況等をそれぞれ評価し、総合的に判断する。決定については、職員会議を経て行う。
	② 8月1週目	結果の通知	生徒・保護者に対して、郵送で結果を通知する。

基本的には、本校に入学許可された生徒であれば DP に志願することができますが、IBDP の教育効果を最大限に高め、きめ細かい教育を可能にするため、IB 生の人数は20人を超えない範囲とします。DP を希望する生徒が1人以上いれば原則開講し、IB 生は全員フルディプロマを取得することを目標とします。

7. 特別支援について

本校独自の特別支援に関わる方針に基づき、支援の必要な生徒に対しては、一人ひとりの必要に応じて、支援計画を立案し、合理的な配慮のもとに適切な支援を行います。

8. Pre-IBDP 期間

IB 生は、9月から12月まで、通常授業の中の一部の科目で、DP の授業を体験していきます。この Pre-IBDP 期間は、3学期からの DP 受講を円滑にするために実施します。

万一、この期間内に、やむなく DP 受講の辞退を申し出る生徒が出てきた場合には、IB 推進室では、その生徒と保護者との面談や関係教職員からの聞き取りを行い、状況を正確に把握します。面談の際には、取り下げによるデメリット等も含めて再度丁寧に説明し、最終的意思確認をします。その後、校内委員会（IB 推進室・運営委員会・職員会議）で協議し、その決定を生徒・保護者に口頭および書面で通知します。

なお、DP 開始後に IB 生を辞退することはできません。

9. 経費等の負担

コア経費、IB 試験登録料（受験料）、教科書、PC、関数グラフ電卓、海外研修等の個人経費は、受益者負担の原則に従って生徒負担になります。個人経費の総額は、IB の設定した価格や為替レートによって、年や時期によって異なります。DP 校に課される IB 年間契約料等の経費は県が負担します。

10. 終わりに

虎姫高校 IB アドミッション・ポリシーは、2018年にIB推進室により策定され、毎年検証と見直しをします。原則として、IB推進室による改定案を学校長が決裁し改定します。

11. 参考文献

- ・滋賀県教育委員会. *滋賀県立高等学校入学者選抜要項*
- ・国際バカロレア機構 『ディプロマプログラム (DP) における評価の手順』 (2023) 内『一般規則：ディプロマプログラム』

Torahime high school

IBDP Admissions Policy

H30(2018).9.26 formulated
R05(2023).9.6 last updated

1. Our educational policy and aims

【Educational policy】

To guide and nurture our students to become global-minded citizens who will contribute to local development or global prosperity, under the school motto, “Simplicity and Fortitude.”

【Educational aims】

- (1)To foster students’ ability to think, to express themselves, to investigate individually, and to work collaboratively.
- (2)To provide world-wide view, make correct judgement, take risks.
- (3)To value gratitude、 live balanced lives reflectively.
- (4)To nurture philanthropism, respect different cultures and values, coexist with others.

Our policy and aims match IB mission statement and student profile and show that we can provide students proper educational opportunity. The school diploma programme is located in full-time general course and application to the DP is open to all students scheduled to enter the school.

2. Selection

We have 100-year history and are stepping into the further development under our school motto.

The ideal applicants are:

- students who have obvious reason to apply and understand the characteristics of Torahime high school
- students who are eager to study and have thinking ability, creativity, and communication skills.
- students who have a healthy curiosity, and are university-oriented to deepen their expertise

Furthermore, we expect IB applicants

- to study overseas or play important roles on the global stage in the future
- to play important roles in the local community with global point of view

Torahime high school is a prefectural school, so entrance examination procedure must follow the instructions indicated by ‘application guidelines Shiga board of education. For more information, see the next chapter “Relationship between overview of entrance examination and DP”.

Relationship between overview of entrance examination and DP

As a full-time regular high school in Shiga Prefecture, Torahime High School accepts applicants from all over the prefecture. Under the current entrance examination, applicants will be determined by the special selection conducted in the week of the first half of February and regular selection conducted in the week of the first half of March. The outline of the purpose and selection method is stated as the following table. The details are described in the Shiga Prefectural High School New Student Selection Guidelines, which will be announced at the end of June each year.

In entrance examination, we cope appropriately for applicants who have physical disability or need special consideration and support for other reasons.

Special Selection	Comprehensive Examination, Essay, Personal Research Report, etc.
Sports, Culture and Arts Recommendation Selection (English Conversation (ESS))	Comprehensive Examination, Essay, Performance Test (speaking test in English), Personal Research Report, etc.
Regular Selection	Academic achievement tests of Japanese, mathematics, social studies, science, and English, and personal research report

Orientation will be held in late March for prospective applicants. At that time, we will explain IBDP and investigate prospective applicants who are interested in the programme, or willing to attend. If there are more than 40 applicants, the selection will be held to select fixed number of students.

The decision materials for the selection will be (1) the results of the screening test and (2) the contents of the personal survey report from junior high school.

When we hold a selection, we will inform the applicants of the result before admission.

Pre-admission publicity activities

The school offers trial experience for junior high school students in August and November in order to help junior high school students make independent choices about their future. To make the experience successful, we visit neighboring junior high schools in advance, send leaflet to all other junior high schools in Shiga, as well as announce on our website to accept applications for participation.

In addition to school introduction, junior high school students and their parents will be carefully given explanations of DP course features, expenses, selection methods, etc. For those who wish, we will offer the opportunity to experience DP-style mock lessons.

We will set up briefing sessions on IB education centered on simulated class experiences, and will establish an opportunity for experiential activities to make the DP course.

Furthermore, on the website, we will introduce the IB philosophy and learners profile, to give the widest possible publicity to the programme.

Application process after admission

As a result of the research at the orientation, incoming students who wish to attend DP will start high school life belonging to a specific class. Then, from May to the 4th week of July is regarded as the DP application process period, and for those who wish to attend, DP briefing sessions, interviews and mock lessons are given, giving them the opportunity and time to think about DP.

While there are many benefits to DP, students and parents must understand that severe learning is imposed. Therefore, we expect students who choose DP to have strong motivation and aptitude for learning, specifically the following qualities, and explain this to students and parents.

- Serious attitude towards learning
- Attitude to work with a sense of purpose
- Ability to learn by collaborating with others
- Self-control and sense of responsibility
- Contribution to the whole

DP application process period is outlined in the table below.

Duration of the	① June 2 nd week	Information Sessions	Explain the DP to students and their parents/guardians.
	② May-July	Individual interview and DP class trial period	Provide consultation to students and their parents/guardians to provide appropriate information and alleviate their concerns. In addition, DP class experiences will be held on Saturdays, etc.

	③ July 2 nd week	Deadline for submission of documents	To be prepared and submitted by students and parents/guardians.
	④ July 3 rd week	Interviews with parents	Interview the parents of the students and confirm their cooperation and support in terms of expenses, etc.
	⑤ July 4 th week	Conducting selection examinations	Conduct interviews and other screening tests to evaluate the aptitude and motivation of students who apply. The oral examination (in English) will be conducted at the time of the interview (individual). The standard level of English proficiency is Pre-2nd Level of the Practical English Proficiency Test. A group discussion will be held on the same day.

- ①~② Students will have time to deliberate whether or not to choose DP. The DP coordinator and others will meet with IB candidates multiple times before they apply.
- ③ Students who wish to apply for the course will submit a request form and a set of related documents to the IB Coordinator by the due date.

List of documents to be submitted

1	Application Form and Parental Consent Form	Signed by applicant and parent/guardian
2	Letter of Reason for Application	Signed by the applicant
3	Academic Honesty Agreement	Signed by the applicant

- If a student who transfers from another school in the middle of the application process period wishes to take the DP, consideration will be given to the application process to the extent possible, if necessary.

Selection and Limitation on Number of Applicants

Applicants who have gone through the application process will be selected and notified of the results according to the following procedures.

Selection	① August 1 st week	Determination of DP students (IB students)	A selection meeting will be held within the school to evaluate the results of the interview, the applicant's statement of reasons for applying, and the applicant's grades and submissions for the first semester, and to make a comprehensive decision. A decision will be made at a staff meeting.
	② August	Notification	Students and parents will be notified of the results by

	1 st week	of results	mail.
--	----------------------	------------	-------

Basically, any student in the application process period can apply for a DP course, but in order to maximize IBDP's educational effects and enable detailed education, size does not exceed 20 people. If there are one or more students who wish to have a DP course, the principle is to start, and all the desired students aim to acquire a full diploma.

Special Needs

Based on the school's own policies related to special needs, the school will develop a support plan for each student with support needs and provide appropriate support with reasonable consideration.

Pre-IBDP Period

Students selected through the application process will experience DP classes in some of the regular classes from September to December. This is to facilitate the start of DP from the following January, and students who have passed this Pre-IBDP period will start DP from January.

It is also assumed that there will be students who will have to withdraw their hopes during this period. In that case, the situation is accurately understood through interviews with students and parents and hearing from related staff. At the time of the interview, we will explain again carefully, including the disadvantages due to withdrawal, and confirm the final intention. After that, the subject will be discussed at the in-house committee (TIBLO, Steering Committee, Staff Meeting), and the decision will be notified to students and parents orally and in writing.

Expenses, etc.

Individual expenses such as core expenses, DP exam registration fee (examination fee), textbooks, PC, function graphing calculator, overseas training, etc. are to be borne by the student according to the beneficiary-pay principle. The total amount of personal expenses varies from year to year and from time to time depending on the price and exchange rate set by the IB; the annual IB contract fee and other expenses charged to DP schools are covered by the prefecture.

At the End

The Torahime High School IBDP Language Policy was formulated by TIBLO members in 2018 and will be reviewed and revised annually. The Head of school

will approve the proposed revisions by TIBLO.

参考文献

- 滋賀県教育委員会 滋賀県立高等学校入学者選抜要項
- International Baccalaureate Organization (2023) *Handbook of procedures for the Diploma programme General regulations: Diploma Programme*